

持続可能な成長に向けて ～重点課題と取り組み状況～

当社はこれまでも、「総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する」の経営理念を踏まえ、社会的責任を果たす活動を推進してきました。しかし、社会課題は多様化・複雑化しており、国際的規範やガイドラインなど、企業に求められるものも変化し続けています。

そのような状況下で、改めて当社が事業を通じて貢献できる分野を定め、優先的に取り組むことが重要であると考え、当社としての重点課題(マテリアリティ)を特定しました。

これは、SDGsをもとに事業と関連の強い社会課題を抽出し、中期経営計画「技術力で挑戦し、未来を創造するダイダン」とのつながりを考慮しながら特定したものです。当社として取り組む意義があり、成果を上げ得る社会課題と、本業を活かして取り組むことができる課題という視点で選択しています。

これらの重点課題への取り組みを進めることで、ステークホルダーの皆さまに提供する価値の最大化を目指しています。

ダイダンがステークホルダーに提供する価値	関連するSDGsの目標	ダイダンの重点課題(マテリアリティ)
 <p>持続可能な社会の構築</p>	 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>特集1 建築設備の視点からのZEBの発信...P11~12</p>	次世代ZEBの発信による省エネルギーの推進
		IoT・AIを活用した設備長寿命化の推進
		事業活動に係る資源の効率利用
		環境配慮技術による貢献
 <p>人にやさしい空間の提供</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>特集2 再生医療の普及貢献を目指して...P13~14</p>	お客様のニーズに適合した空間の提案・設計・構築
		先進技術を活用した最高の快適さの追求
		i-Construction推進による低コストな快適空間の実現
		再生医療の発展に向けた低コストで高品質な空間の提供
 <p>強固な企業基盤の維持</p>	 <p>5 ジェンダー平等を實現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナシップで目標を達成しよう</p>	公正・公平な調達ならびに協力会社との共栄
		働き方改革と健康経営の推進
		ダイバーシティの推進
		ガバナンス・リスクマネジメントの強化
		地域社会貢献活動の推進

建築設備の視点からのZEBの発信

【詳細はWEBに掲載】
<https://www.daidan.co.jp/tech/smartenergy/>



事務所ビルなどの業務部門にて消費されるエネルギーは国全体の約20%を占めており、生産部門に比べ省エネルギー化が進んでいません。建物のエネルギー消費を抑え、低炭素化社会の実現に貢献するのがZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)です。

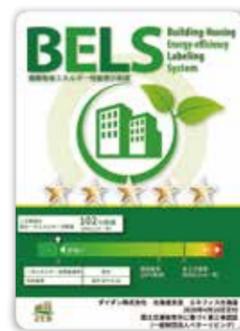


新研究棟建設・研究棟改修、エネフィス®九州およびエネフィス®四国建設にて培ったZEB技術と快適さを実現するZEBの普及を推進します。

(仮称)エネフィス®北海道(北海道支店)を着工



■BELS※1 5☆『ZEB』



※1 BELS:建築物省エネルギー性能表示制度

『災害に備えた「レジリエンス」と、積み重ねたZEB技術を「寒冷地のZEB」として進化させ次世代建築物を実現する』をコンセプトに、2020年5月30日に着工しました。

レジリエンス ~想定外の事態にも速やかに柔軟に対応できる強靭さ・回復力~

ブラックアウト等の災害発生時における支店機能の維持・事業継続のため、複数の電源システムを導入しています。蓄電池はリサイクル品を採用し、環境負荷の低減を目指します。

寒冷地の『ZEB』を達成

建物の断熱を強化することにより、設備容量を最小限に抑え『ZEB』を達成しています。北海道の自然環境を考慮し、建物側面を利用した太陽光発電パネル、屋上ハイサイドライトによる自然採光、自然換気システムを導入します。

ウェルネス ~快適な室内環境~

長い暖房シーズンを快適にする、床放射空調と床染み出しによる置換空調を採用します。グリーンウォールなどによりバイオフィリックデザインを導入します。

設計時における省エネルギー性能は、創エネ(太陽光発電)を含まず基準一次エネルギーより63%の削減、創エネを含み102%の削減となりました。基準一次エネルギーからの63%削減は非常に高い数値になりました。

エネフィス四国(四国支店)の運用状況

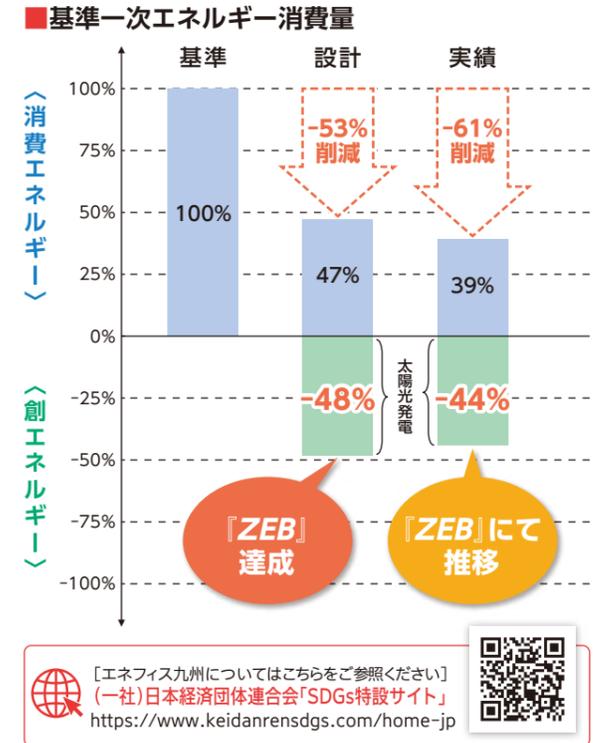
2019年5月に竣工、6月より運用を開始(太陽光発電は10月より運用を開始)しました。エネフィス四国は、設計段階で『ZEB』認証を受けており、運用段階においても『ZEB』にて推移しています。グラフの消費エネルギーは2019年6月~2020年4月の消費量をもとに1年間に換算、また、創エネルギーは2019年10月~2020年4月の発電量をもとに1年間に換算しています。



さらに、環境性能のみならず、オフィスで働く人の“健康と快適性”、そして建物の運用における“社会への配慮”についても評価され、DBJ Green Building認証※で4つ星を取得しました。“極めて優れた「環境・社会への配慮」がなされた建物”であることの認証で、小規模ビルにおいてはトップレベルの評価となります。



※DBJ Green Building認証:
 「環境・社会への配慮」がなされた不動産を支援するために日本政策投資銀行(DBJ)が提供する認証制度



スマートビルディングソリューション室を新たに創設

これからのストック社会では、建物のライフサイクルに対するESGを意識した最適化が求められています。この課題解決に対応するワンストップの事業を推進するため『スマートビルディングソリューション室』を創設しました。

今まで培ってきたZEB技術、運用ノウハウをベースに、さらにICT・IoTによるクラウド型自動制御システム「リモビス」を活用して事業展開を図っていきます。

事業内容

- 建設工事を含めた小規模ZEB建物の改修・新築工事の設計、施工
- リモビスによる建物運用管理事業
- ZEB・WELLに適する製品(クリマチェア等)の販売・リース事業

クリマチェア

環境・設備デザイン賞 最優秀賞を受賞
 (一般社団法人 建築設備総合協会主催)



ZEBリーディング・オーナーとして



ZEBを実現した先進的な建物のオーナーである「ZEBリーディング・オーナー」に登録され、お客さまにZEB建物を見学・体験していただくなど情報発信し、ZEB普及に貢献しています。

導入実績	
ZEB建物保有件数	3件

ZEBプランナーとして



「ZEBプランナー」に登録されており、お客さまへZEB化の提案・プランニング、設計施工および運用などのコンサルティングを行っています。

プランニング実績	
ZEB	3件
その他	15件

再生医療の普及貢献を目指して ～飛躍への挑戦～

[詳細はWEBに掲載]
https://www.cellabhs.co.jp/



[セラボ殿町を通じたオープンイノベーション活動については、こちらをご参照ください。]

(公財)日本生産性本部WEBページ「出島」
https://www.jpc-net.jp/movement/committee/innovation.html



再生医療が身近な医療として普及し、健康を届けるためには、それを支える周辺産業の技術革新や実用化が不可欠です。当社は2017年4月に開設したオープンラボ「セラボ®殿町」を通じて、多くのユーザーとコミュニケーションを図り、ユーザーの想いを形にした細胞培養加工施設(CPF: Cell Processing Facility)の施工や、関連製品の開発に注力し、実績を積み重ねてきました。本事業のさらなる発展、社会的貢献を目指し、再生医療分野に特化した「セラボヘルスケアサービス株式会社」を2020年2月に設立しました。



セラボヘルスケアサービス株式会社(セラボHS社)の設立

ダイダンは医療施設やベンチャー企業におけるCPFのエンジニアリングを手がけるとともに、細胞培養加工に適した環境を構築する「エアバリアブース®」や「オールインワンCPユニット®」などの開発に取り組んでまいりました。

セラボHS社では、これらの実績とともに培ってきたアカデミアやベンチャー企業との連携をもとに、①CPFのエンジニアリング、②再生医療向け装置・機器類の販売、③レンタルラボ・細胞製造受託など幅広いサービスを提供してまいります。また「からっとオペ®」などの医療関連製品もご提案することで、細胞の製造から患者の治療までトータルでコンサルティングしてまいります。これらの取り組みにより、再生医療が身近な医療として発展することに寄与するものと考えています。



セラボHS社ポリシー

	基礎研究	非臨床試験	治験	製造	治療
アイラックシステム®	■	■	■		
エアバリアブース	■	■	■		
オールインワンCPユニット				■	
細胞培養加工施設(CPF)				■	
設備運用・保守メンテナンスサービス					■
手術室					■
病室					■

～基礎研究から非臨床試験～

- **アイラックシステム**
実験動物飼育ラック: 飼育環境を改善
- **エアバリアブース**
局所清浄化ブース:
安全キャビネット周りの清浄化

～基礎研究から治験～

- **オールインワンCPユニット**
パッケージ型細胞培養加工ユニット:
ダクトレスで大がかりな工事をしなくても
既存施設に設置可能

～治験から商用製造～

- **細胞培養加工施設(CPF)**
運用に合わせた設計から施工、
さらに施工後のメンテナンスも実施

～医療施設(手術室)～

- **からっとオペ**
患者からの細胞採取、
投与向け手術室の湿度環境を改善
- **ハイブリッド手術室向け空調システム**

～医療施設(病室)～

- **易感染患者用病室**
術後患者向け防護環境の構築

ニーズを市場へ ～オールインワンCPユニットの普及～

お客さまである医師や研究者の方々のニーズから誕生したオールインワンCPユニットは、CPFに必要な更衣室から細胞調製室までの一連の機能をユニット化したものです。省スペース・短工期・省コストで細胞操作に適した環境を構築します。

治験段階の少量生産や、細胞製品製造のスマールスケール化を目指すお客さまに採用されています。



施工事例(三重大学様 2019年9月竣工)

お客さまの『想い』を形に ～エアバリアブースを活用したCPF～

局所清浄化を実現するエアバリアブースは、扉がないという利便性から多くのお客さまにご支持いただいています。クオリプス株式会社様のCPF建設計画では「エアバリアブースを活用した大部屋CPF(エアバリアCPF®)」を提案し、ご採用いただきました。今後は治験製造や商用生産に使用される予定です。



施工事例(クオリプス株式会社様 2020年7月竣工)

モノづくりからコトづくりへ ～サービス事業の拡大～

再生医療製品を開発するバイオベンチャー企業である、株式会社ガイアバイオメディシン※への出資を行いました。これにより、生産施設の運用管理のノウハウも獲得してまいります。

そしてセラボHS社では、お客さまの開発フェーズに合ったハードとソフトを一括でコンサルティングし、運用開始後の保守・メンテナンスおよび運用改善を提案することで、“モノづくり”だけでなく患者へ再生医療が届く“コト”まで支援してまいります。CPFのレンタル、運用支援、細胞製造受託などをはじめとした関連サービス事業を拡大し、再生医療の発展に貢献します。

※ 株式会社ガイアバイオメディシン:九州大学発のベンチャー企業。難治性・進行がん治療用の全く新しい細胞製剤(再生医療等製品)を開発

